



2015年を振り返って

代表取締役 梶田 宙



今年も高知ファイティングドッグス球団にご支援、ご声援をいただき、ありがとうございます。四国アイランドリーグplusは、次の10年に向けて新たな一歩を踏み出すことができました。

そして、越知町の皆さんがホームタウンとして球団を受け入れてくださってから6回目のシーズンを終えることができました。2015年も大

変厳しい結果で、皆さんのご期待に添えなかったことを心苦しく思っています。

一方、今季からシーズン期間が短縮され、前期と後期の間には、リーグ選抜チームが北米遠征を行ったり、集中的に地域貢献活動を行ったりするなど、新しいチャレンジにも取り組みました。

そして、林哲瑄（リン・ジェシエン）と蔣智賢（チェン・チーシェン）の2名の台湾選手が台湾プロ野球ドラフトでそれぞれ1位指名を受け入団するという喜ばしいニュースもありました。また、後期に所属したアブレイユ選手が読売ジャイアンツと育成選手契約を結ぶなど、アイランドリーグが世界の野球のステップアップの場として機能するようになってきました。

そして、忘れてはならないのが、阪神タイガースやメジャーリーグで活躍した藤川球児選手が6月に入団するという大きな出来事です。初練習の際には、県内外から多くの方々が総合運動場に足を運んでくださいました。

また、マスメディアにも盛んに取り上げられ、ホームタウン越知町のPRに少しは貢献できたのではないかと思います。藤川投手も素晴らしいピッチングはもちろんのこと、ファンサービスや練習への取り組み方を通じて、プロ野球選手としてのお手本をファンや選手に示してくれました。



来年も、こういった盛り上がるの火を消さないよう、新しい監督・コーチ・選手と球団が一体となり、知恵と力を振り絞って、野球も地域貢献も日本一のチームになれるよう努力していきます。

越知町の皆さんには、普段の練習でもグラウンドで選手を

温かく叱咤激励いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

☆イベント報告

【おなばれ】

今年のおなばれには、浅野選手が参加し、ユニフォーム姿で賽銭箱を担いで町内を練り歩きました。多くの方々からお賽銭と一緒にご声援をいただき、本当にありがとうございます。赤鬼や青鬼、天狗や巫女さんなどの仮装や、中学生の皆さんの演奏などとても素晴らしかったです。来年こそは優勝して神様にも喜んでもらいたいです。



【保健福祉大会】

11月18日に町民会館で開催された保健福祉大会にブースを出して、今年度の活動の写真を展示を行いました。

また、農業事業部で栽培し、おち駅やその他産直などに出品しているベビーリーフを、少量ですが展示販売しました。野球チームが栽培する野菜に驚かれた方もいましたが、時には選手も手伝い、愛情込めて作っていますので、柔らかく美味しく育っています。おち駅で販売していますので、ぜひお試しください。

